



繁殖期のカラスは 神経質

カラスは攻撃的な鳥ではなく、むやみに人に襲い掛かることはありませんが、春から夏にかけてはひなを守るために神経質になります。巣立ちのときなどはひなを守ろうと、通行人に威嚇行動とる場合があります。



繁殖期のカラスを 見つけたら…

- ▶カラスの動きに注意して、迂回路など巣の場所を避けて通るようにしてください。
- ▶どうしても巣の近くを通らなければならない場合には、帽子をかぶる・傘を差すなどして速やかに通るようにしてください。



カラスとの関わり方

カラスは生態系の中で生きている野鳥で、共存していくことが大切です。また、カラス本来の生息環境は森林です。そのため、一人ひとりがごみ出しのルールを守る、ペットに与える餌の後始末をきちんとする、カラスに餌やりはしない、カラスの餌になるもの(生ごみや残飯など)は適切に処理してマナーを守ることがカラスの生息環境を守ることに繋がります。



カラスに対する 対応について

カラスは野鳥なので「鳥獣保護管理法」により、勝手に捕まえることは禁じられています。ひなや卵のある巣を撤去することも同じく禁じられています。また、町でカラスの捕獲は行っておりません。もし、カラスの巣が街路樹や電柱にある場合は、管理者へ連絡してください。巣が自宅などの私有地にある場合は、土地所有者の対応となります。



■問い合わせ 役場住民課環境係 (☎ 611-2506・2507)

子育て時期のカラスにご注意!